



4月 号

見崎中学校図書館

入学・進級 おめでとうございます

古代ギリシャの図書館入り口には「心を癒やす場所」という文字が彫られていたそうです。遙か昔から、読書は人の心により影響を与える力があると認識されていました。

読書は、言語を学び、感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにするものです。そして人生をより深く生きる力を身につけることのできるものです。

一冊の本があなたを助けることがあると信じています。中学生の時期は心も身体も急速に変化します。これは成長過程において当然のことです。しかしそれゆえに心がたびれることもあるでしょう。図書館はみなさんにとって居心地のよい場所でありたいと思います。心に寄り添う本もあります。

図書館と司書は、中学校生活の短い時間にみなさんの心にぐっと響く本や言葉との出会いの架け橋になりたいと思います。

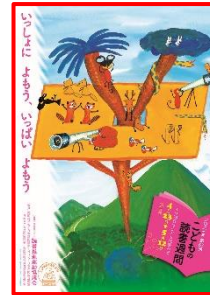
「他の人に迷惑にならないようにする」、「次に使う人が気持ちよく利用できるようにする」図書館のマナー&ルールを守り、利用するみんなが居心地のよい図書館にしていきたいと思います。期待しています。



学校司書の内藤圭子です。本校2年目になります。今年度も見崎中のみなさんが、「図書館に行ってみよう!」と思ってもらえるような図書館作りを目指してがんばります。どうぞ、よろしくお願い致します。



4月23日~5月12日はこども読書週間です



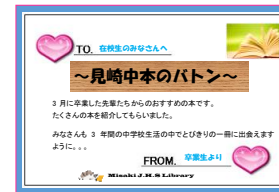
読書週間はもっと子どもたちに本を!との願いから、1959年(今から62年前)にはじまりました。

今年の標語は「いっしょによもう、いっぱいよもう。」です。

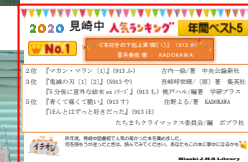


見崎中本のバトン つなげよう本のバトン

図書館は9日(金)に1年生の図書館オリエンテーションを行い、12日(月)から全学年貸出を開始しました。今月の図書館は(祝)入学・進級の気持ちを込めていろいろな展示をしています。まずはゆっくり館内を探検しに来てください。たくさんの発見があるでしょう(\*o^\*)



3月に卒業した先輩たちからのおすすめ本の紹介は廊下に掲示しています



2020見崎中で人気のベスト5を展示しています。



在校生の読書人たちが推す本はどんな本でしょう。桜の花びらのおすすめ紹介文を読んでみてください♪